



馬頭中学校 図書委員会新聞

発行者

図書委員 1, 2 年生

図書委員がおすすめる本コーナー

―春休みに読むべき本はこれだ！―

『君の膵臓が食いたい』 住野 よる 著

「山内桜良の死ぬ前にやりたいこと」に付き合うことにより、「僕」、桜良という正反対の性格の 2 人が、互いに自分には欠けている部分にそれぞれ憧れを持ち、次第に心を通わせていきながら成長していく。そして「僕」は「人を認める人間に、人を愛する人間になること」を決意。桜良は、恋人や友人を必要としない「僕」が、初めて関わり合いを持ちたい人に自分を選んでくれたことにより「初めて私自身として必要とされている、初めて私が、たった一人の私であると思えた」と感じていく。しかし、余命を全うすることなく、4 週間の入院治療から解放されたその日に桜良は通り魔に刺されて亡くなってしまう。「僕」は桜良の通夜や葬儀に出席せず、数日後に桜良の家に訪れてどうなるのか…。

『原稿用紙 1 枚の物語』 あいはら まひろ 著

不思議な物語に優しい物語、恋の物語に意外な結末。一冊でいろいろな物語が楽しめて、どれも原稿用紙一枚で終わる短い物語なので、とても読みやすいです。長い文を読むのが苦手な方にもお勧めしたいです。飽きずに最後まで読めると思います。20 行目で「あっ！」と驚く本、ぜひ読んでみてください。

『The Giving Tree』 シェル・シルヴァスタイン 作

この本は、英語で書かれていますが、英語の文の下に、日本語が書かれていて、英語を訳さずに、読むことができます。そして、この本では、「1 人の男の子と、木の物語が、書かれており、男の子は、最初は、木といっぱい遊んでいましたが、成長するにつれて、遊ばなくなり、木にお願いするようになっていき、最後に…」ここからは、皆さん読んでみてください。

『怪盗レッドシリーズ』 秋木 真 著

この本では、主人公「紅月アスカ」と「紅月ケイ」

の二人で、悪しきものをくじき、弱きものを救う平成の怪盗として飛び回っていく本です。

一巻では、アスカとケイはお父さんたちから「明日から、お前たちが怪盗レッドだ！」と告発され…ここからは、皆さん読んでみてください。

その他のおススメは……

『ラストで君は「まさか！」シリーズ』

『怪談5分間 シリーズ』

『僕らの シリーズ』

『あと少し、もう少し』

『晴れたらいいね』

などなど…ぜひ読んでください！



一年間で100冊を超える本を読む先輩たち…

いったい何冊カードを使っているんだろう？

貸し出しカードランキング

1 位 4 枚 3 年生 S・J さん

2 位 3 枚 3 年生 H・S さん

1 年生 Y・H さん

1 年生 M・R さん

3 位 2 枚 3 年生 A・S さん

3 年生 O・M さん

2 年生 I・Y さん

1 年生 M・T さん

では、春休みも良い読書ライフを送ってください。